

オフィス・ラボ

回転ロックとスライドの介護椅子

福祉・オフィス家具販売のオフィス・ラボ（松山市今在家四一九一三）、田崎純一社長は、座面の自動ロックとスライド機能をあわせ持つ国内初の介護椅子を開発した。介護者の負担軽減と高齢者の自立を目指した自社ブランド「ピタットチェアEX」として二月から既存の卸ルートで全国発売、専門カタログへの掲載で認知度向上を図る。さらに同社は福祉家具メーカー一色を強める。

同社が開発した「ビタットチエーEX」は、高齢者向けの介護椅子。特徴は、三百六十度回転する座面が九十度ごとに自動で止まるロック機能と座面が前方に十二センチメートル出せるスライド機能をあわせ持つ。同二機能を備えるのは国内初。座面高が三十九センチと四十二センチの二機種。価格は税別三万四千八百円。

同社は、平成二十三年に市場投入したロック機能を備えた「カチットチエア90」が累計販売六千

に対し、ピタットチェアは高齢者をテーブル横で椅子に座らせ回転、その着座状態のままスライドしテーブルに近づけるため大幅な負担軽減となる。また高齢者は自身で着座し、座面下のレバーで自らテーブルに近づくことができ自立性を高められる。

同社は一月十一日
から既存の介護家具・用
品卸を通じて全国の介護
ショップ約五千軒で発売
する。また、これまで規
模な展示会への出展で
繋がりを持った医療系の



ピタットチェアEX

の需要拡大が見込めるなかで、新たに介護家庭や介護施設などとしての要望としてのスライド機能を付加し上位幾重として市場投入する。

同社は昭和六十一年設立。初のオフィス家具販売や内装工事に加えて平成二十一年から福祉家具・用品の製造販売に着手。この福祉分野は「スマイル・ケア」として自社ブランドを持ち展開。同部門の売上比率は二十八年十一月期で六割まで高まっている。「今後も高齢化が進展するなかで（福祉家具等の）需要は個人向け、業務用とともに高まる」（田崎社長）

まで開催している。

小さな親切運動愛媛県本部
（森田浩治代表）は、平成二十

一が「踏み絵」の殿堂のように見えるようになつてしまつた。大企業ばかりではない。米

新聞大手のニューヨーク

ク・タイムズまでトラ

ソ連政権取材に5.6億円

正社員に5倍

を投資で、
兵庫県の
兵庫県の

巴は気に食わないとな

るととたんに牙を剥く。

これは恫喝に等しい。

刃に掛かるまいと世界

最強の為政者へ供手し、

最上ノ御正月、但三日

篤心を買わんとするさうした劇場型の様が果たして尋常か▼英國の

EU離脱でさえ、さも結構なことだとのご託宣だ。アメリカン・フースト」「米国第一主義」、ほかの国のことなど知つたことかと。この志向は不動産で財を成した「ゼニカネ・フースト」の商魂に根差したものなのか。かの中国、ロシアの市場性ばかりに目がゆけば世界の安全保障の秩序さえ危ぶまれかねない▼さともメキシコ進出の企業バッティングから

ドル安誘導へと為替に標的を移し始めたトランプ丸のいよいよの船出だが、この船に「先憂後樂」「惻隱の情」を持ち合せた人士が乗り合わせてゐる事を祈らずにいられない。

つ高島屋（松山市湊町五丁目）催物会場で「全国うまいもの味めぐり」を開催している。一月二十四日からは「炭焼牛たん」東山（宮城）の牛たんの弁当（千五百八十円）、「骨付鳥一鶴」のひなどり（八百九十四円）などを販売している。この催しは三十日

始業前に本の読み語りを実施している。二十年にはこども読み語り隊が発足し夏休みには福祉施設や保育所で読み語りや紙芝居を行っている▽川之石地区公民館では有志の「川之石の愛を伝え隊」が東日本大震災の被災地の支援活動を行っている。ちゃんとばんの炊き出し、みかんや和菓子の配付のほか毎年、仮設住宅へ伊予柑を贈る活動を行っている。